

相談内容概況

山形いのちの電話では、午後1時から午後10時まで3交替で相談の電話を受け付けています。2020年は全国的な新型コロナウイルス感染の蔓延と自殺者増加の中で、いのちの電話への関心が高まり、電話相談員も感染防止に努めながら相談電話にあたりました。

【概況】2020年の電話相談は7,240件で、昨年の7,131件から109件の増でした。内訳としては男性3,894件、女性3,346件とやや男性が多いのですが、40代までは男性が、50代以上は女性からの相談が多くなっています。年代別に見ると多い層からは、40代、50代、60代、30代と続きます。内容別に見ると、上位から「人生」（昨年2位）、「精神」（同1位）、「家族」（同3位）と続きます。例年この3分野が毎年相談内容の区分で上位を占め、「対人」、「身体」、「男女」の問題が続いています。コロナ関連で会話のなかでコロナに言及されることとしては日に数件数えることがありました。

【自殺傾向】自殺傾向の相談電話は539件で全体の7.4%、昨年の555件、割合で7.8%から共に減少しました。自殺傾向の相談内容別では、上位は「人生」で184件、「精神」で172件です。

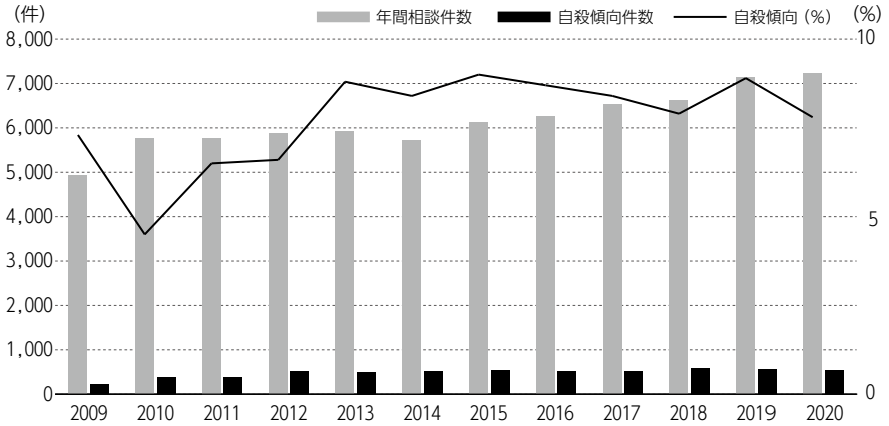
【自殺予防フリーダイヤル】厚生労働省の補助事業である「自殺予防フリーダイヤル」は全国いのちの電話が協力体制をとって取り組んでいます。山形いのちの電話もその一員として参加し、毎月10日、深夜の電話相談にも対応しました。この受信件数は356件（昨年363件）で、その内、自殺傾向は25.3%と高い割合が見られます。

コロナ禍によって自粛生活が求められ、人とのつながりが希薄さゆえに孤立している人からの電話が多くなっているように思います。そのような人にとってこの電話が唯一、人とつながる場であったり、何でも話せる拠り所になっているようにうかがえます。

電話をくださる方の声ははじめは暗いトーンだったのが、後半になって少し明るい声に変わって、「電話をかけて良かった」というような会話で終わると、相談員にも大きな励みになっています。

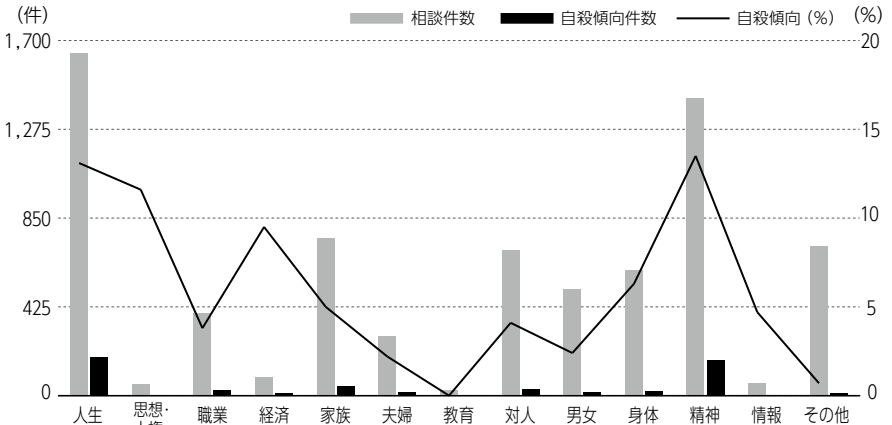
コロナ禍の懸念など悩みの様相はひとそれぞれに多様化しています。山形いのちの電話では電話相談員としての研修に努めながら、1本でも多くの相談電話を受けたいと頑張っています。これからもご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

① 年間相談件数と自殺傾向件数の推移



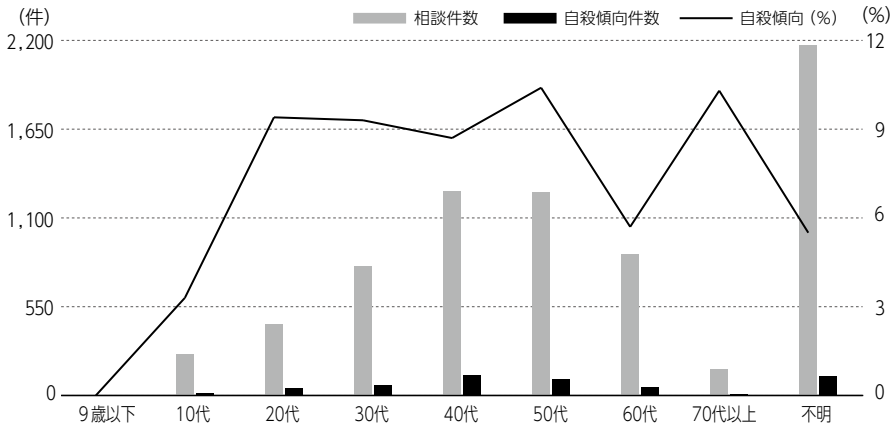
年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
年間相談件数	4,930	5,754	5,775	5,883	5,925	5,713	6,124	6,252	6,532	6,615	7,131	7,240
自殺傾向件数	224	372	384	518	496	515	533	525	516	592	555	539
自殺傾向 (%)	4.5	6.5	6.6	8.8	8.4	9.0	8.7	8.4	7.9	8.9	7.8	7.4

② 内容別相談件数と自殺傾向件数



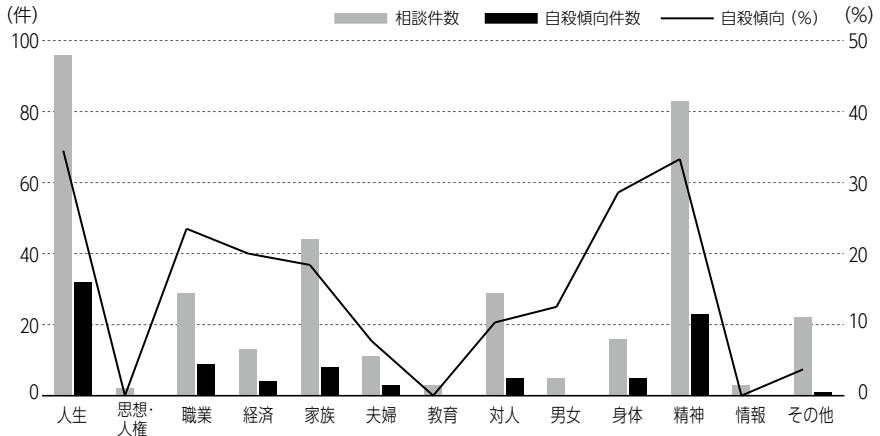
項目	人生	思想・人権	職業	経済	家族	夫婦	教育	対人	男女	身体	精神	情報	その他	総計
相談件数	1,641	53	393	90	752	283	24	696	510	602	1,423	58	715	7,240
自殺傾向件数	184	2	24	13	45	17	4	29	15	21	172	0	13	539
自殺傾向 (%)	11.2	3.8	6.1	14.4	6.0	6.0	16.7	4.2	2.9	3.5	12.1	0.0	1.8	7.4

③ 年代別相談件数と自殺傾向件数



項目	9歳以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不明	合計
相談件数	0	256	445	800	1,264	1,262	876	164	2,173	7,240
自殺傾向件数	0	13	46	67	128	103	51	10	121	539
自殺傾向 (%)	0.0	5.1	10.3	8.4	10.1	8.2	5.8	6.1	5.6	7.4

④ フリーダイヤル内容別相談件数と自殺傾向件数



項目	人生	思想・人権	職業	経済	家族	夫婦	教育	対人	男女	身体	精神	情報	その他	総計
相談件数	96	2	29	13	44	11	3	29	5	16	83	3	22	356
自殺傾向件数	32	0	9	4	8	3	0	5	0	5	23	0	1	90
自殺傾向 (%)	33.3	0.0	31.0	30.8	18.2	27.3	0.0	17.2	0.0	31.3	27.7	0.0	4.5	25.3